

---

## 第 68 回数理社会学会大会 (JAMS68) プログラム (大会前暫定版)

---

日時：2019 年 8 月 30 日（金）～8 月 31 日（土）

会場：熊本県立大学

大会委員長：飯島賢志（熊本県立大学）

---

### 1 参加費、懇親会費（セミナーの参加は無料）

大会参加費	一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	1,500 円
	一般（非会員）	5,000 円	学生・院生（非会員）	2,000 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

### 2 主なスケジュール

	時間	講義棟 2 号館 中講義室 3	講義棟 2 号館 中講義室 4	その他
8 月 29 日	16:00～18:00			セミナー（講義棟 2 号館中講義室 4）
8 月 30 日	09:30～10:45	第 1 部会		
	11:00～12:15	第 2 部会	第 3 部会	
	12:15～13:15			昼食休憩
	13:15～14:45			萌芽的セッション I (講義棟 2 号館小講義室 3, 小講義室 7, および総合管理学部棟 2 階大演習室)
	15:00～15:45			会長講演(大ホール)
	16:00～17:00			総会
	18:00～20:00			懇親会 (カフェダイニング彩(熊本市役所 14 階))
8 月 31 日	09:10～10:40			萌芽的セッション II (講義棟 2 号館小講義室 3, 小講義室 7, および総合管理学部棟 2 階大演習室)
	10:50～12:30	第 4 部会		

### 3 主な会場（講義棟 2 号館中講義室 3 および中講義室 4）

- ・受付：大ホール前ロビー
- ・会員控室・抜き刷り交換コーナー：講義棟 2 号館小講義室 1

#### 4 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- ・部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます（Windows10, Office2016）。持参パソコンの場合、VGA 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です（HDMI は対応していません）。いずれの場合も持参の機器は、開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ・ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）。
- ・配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・（司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

#### 5 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・1 日目のポスターは来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、懇親会の開始時間までには取り外しください。この時点で残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・2 日目のポスターは当日の 9 時 05 分までに貼りつけていただき、後ほど取り外しください（閉会後でも結構です）。閉会後 10 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・最大で A0（縦 1189×横 841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけにはマグネットあるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・部会開始 5 分前に集合してください。

#### 6 問い合わせ先

**研究事務局** 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学社会学部 石田 淳

E-mail: jams.research[at]gmail.com, Tel: 0798-54-6060

**大会事務局** 〒862-8502 熊本県熊本市東区月出 3-1-100

熊本県立大学総合管理学部 飯島賢志（大会委員長）

E-mail: jams68kumamoto[at]gmail.com, Tel: 096-321-6647(学部資料室)

## 8月29日(木)

14:00～16:00	編集委員会	総合管理学部棟5階演習室7
14:00～16:00	研究活動委員会	総合管理学部棟5階演習室6
16:00～18:00	ワンステップアップ・セミナー	講義棟2号館中講義室4
18:00～20:00	理事会	総合管理学部棟5階演習室6

## 8月30日(金)

09:00	開場・受付	大ホール前ロビー
09:20	開会挨拶 大会委員長 飯島賢志	講義棟2号館中講義室3
09:30～10:45	自由報告I	

### 【第1部会】 制度と協力の数理 司会 三隅一人(九州大学)

1	間接互恵的な協力における私的評価システムの数理	岡田勇(創価大学)
2	順位制から見た人間平等起源論 ——ゲーム理論的視点からの考察——	河野敬雄
3	制度システムの理論と微分位相幾何学	堀田悠生(同志社大学)

＊＊＊＊休憩(15分)＊＊＊＊

11:00～12:15 自由報告II

### 【第2部会】 移動と還流 司会 三輪哲(東京大学)

1	在日外国人労働者の地位達成メカニズム ——職業と雇用形態における達成メカニズムの比較から——	○永吉希久子(東北大学) 木原盾(Brown University)
2	暴力性の潮流と排外意識に関する計量分析	下窪拓也(東北大学)
3	引揚者の戦後の不安定性 ——1951年京浜工業地帯調査の2次分析——	渡邊勉(関西学院大学)

### 【第3部会】 教育と政策 司会 前田忠彦(統計数理研究所)

1	When and How Does Non-study Activity Enhance Study Activity in a Japanese University Class?	藤山英樹(獨協大学)
2	高等教育政策立案におけるエビデンスの位置づけの変化 ——教育刷新委員会と大学分科会のテキスト分析の比較から——	○樊怡舟(広島大学) 中尾走(広島大学)
3	なぜ公園でボール遊びが禁止されるのか(2) ——首長の否定的姿勢、および、トラブルの存在に着目して——	○堂免隆浩(一橋大学) 大崎裕子(東京大学)

＊＊＊＊昼食休憩(60分)＊＊＊＊

1	生徒とその母親に対する近隣の影響	藤原翔（東京大学）
2	脱工業化と離転職	森山智彦（労働政策研究・研修機構）
3	新自由主義と排外主義：質問紙実験による検討	○五十嵐彰（立教大学） 尾野嘉邦（東北大学）
4	ソーシャル・サポート・システムにおける重要な他者の移行（その2）	中田知生（北星学園大学）
5	モジュール型コミュニティによる公共財供給	三隅一人（九州大学）
6	高齢者の社会関係のパターンと趣味活動の継続・開始との関連	○関口卓也（理化学研究所） 大武美保子（理化学研究所） 近藤克則（千葉大学）
7	日本における社会的排除 ——パネルデータによる剥奪の頻度と深度——	百瀬由璃絵（東京大学）
8	効用最大化モデルによる自動車運転中のリスクテイキング行動の説明 ——損失の確率価値割引に注目して——	○水野景子（関西学院大学） 清水裕士（関西学院大学）
9	API利用による食の社会学的研究の可能性	○真間大地（立正大学）
10	社会経済的地位による怒り表出のメカニズム	○志水裕美（関西学院大学） 清水裕士（関西学院大学）
11	チスイコウモリの社会形成を再現する数理モデル	○三上大志（東北大学） 加納剛史（東北大学） 石黒章夫（東北大学）
12	「負の社会ネットワーク」に関する基礎的分析	○石田賢示（東京大学） 荒牧草平（日本女子大学） 苦米地なつ帆（大阪経済大学） 阿部智生（首都大学東京）
13	「承認」に関する雑誌記事を対象とした計量テキスト分析の試み	智原あゆみ（関西学院大学）
14	配偶者選択のプロセスが結婚満足度に及ぼす影響	渡辺泰正（東京大学）
15	親同士の友人グループにおける呼称の規定要因と親密性への影響	○塚常健太（KDDI総合研究所） 大戸朋子（KDDI総合研究所）
16	子を持つ親のICT利用とサポートネットワークの関係	○大戸朋子（KDDI総合研究所） 塚常健太（KDDI総合研究所）
17	ステイグマとしての「怠惰さ」認識と福祉国家支持 ——参加による連帶の社会間の差異に着目して——	増田康介（東京大学）
18	不平等忌避傾向が排外主義的態度に与える影響	○柏原宗一郎（関西学院大学） 清水裕士（関西学院大学）
19	嗜好品は健康や利他と結びつくのか	橋爪裕人（たばこ総合研究センター）
20	出生順位が職業達成に影響を与えるメカニズムの検討 ——「きょうだい構成と個人のライフコース調査」の分析——	苦米地なつ帆（大阪経済大学）

\* \* \* \* 休憩 (15 分) \* \* \* \*

15:00～15:45 会長講演

大ホール

「数理社会学の会員構成」

数理社会学会会長 吉川徹 (大阪大学)

\* \* \* \* 休憩 (15 分) \* \* \* \*

16:00～17:00 総会

大ホール

\* \* \* \* 休憩・移動 (60 分) \* \* \* \*

18:00～20:00 懇親会

カフェダイニング彩  
(熊本市役所 14 階)

09:00 開場・受付

大ホール前ロビー

9:10～10:40 萌芽的セッション（ポスター報告）II

講義棟2号館小講義室3, 小講義室7, および  
総合管理学部棟2階大演習室

1	学生同士の相互作用が大学不適応・中退選択に及ぼす影響の検討	下瀬川陽（東京大学）
2	独立変数の変動の有無・変化の方向性を考慮したモデルの比較検討 ——就業状況の変化と家事頻度を例に——	○柳下実（首都大学東京） 不破麻紀子（日本学術振興会・首都大学東京）
3	準天頂衛星システムに対応した『聞き書きマップ』専用一体型端末の試作	原田豊（立正大学）
4	女性の就業選択と学歴 ——東大社研パネル調査（JLPS）データを用いた検討——	多喜弘文（法政大学）
5	Three Networks in a Seminar of a Japanese University: Study, Non-Study, and Advice Networks	藤山英樹（獨協大学）
6	女性の出産による離職のコーホート分析 ——配偶者の影響に着目して——	田中茜（東京大学）
7	プロ・スポーツのファンが醸成する地域意識 ——量的調査による拡大体験の実証——	木村宏人（千葉大学）
8	学校外教育の効果 ——高校段階への着目——	眞田英毅（東北大学）
9	不平等回避のメカニズムを探る（2）ミニマックス原理とジニ原理の分離	清水裕士（関西学院大学）
10	学校外教育投資の地域分析——マルチレベルモデルを用いて——	北村友宏（慶應義塾大学）
11	親世代との居住距離が子ども数に与える影響 ——山形・埼玉・鹿児島・沖縄に注目して——	○鈴木貴士（筑波大学） 尾崎幸謙（筑波大学）
12	圏論による「神的暴力」の二つの予想	大山智徳（日本郵便）
13	ミクロなネットワーク形成規則とネットワークの中心化の関係	鈴木努（東北学院大学）
14	職業学科の地位達成過程に関する不安定性	○池田岳大（東京大学・日本学術振興会） 濱本真一（立教大学）
15	「女性は四大より短大」はいつ終わったのか ——SSM調査データによる「女の子資本」仮説の検証——	山本耕平（京都大学）
16	“バブル崩壊”後の日本人の自信喪失 ——「日本人の国民性調査」から——	前田忠彦（統計数理研究所）
17	Wage Stratification and Inequality among Occupational Classes in Japan: Evidence from 1997-2017	○Shoki Okubo (University of Tokyo) Keisuke Kawata (University of Tokyo) Ting Yin (Research Institute of Economy, Trade and Industry)
18	大卒者・非大卒者の間の相互不信の分析	大崎裕子（東京大学）
19	AI親和性の規定要因	小藪明生（早稲田大学）
20	親と同居する中年者の家計への貢献度とその時点間変化	侯野美咲（武蔵大学・日本学術振興会）

\* \* \* \* 休憩 (10 分) \* \* \* \*

10:50～12:30 自由報告III

【第4部会】 職業と不平等  
司会 藤原翔（東京大学）

講義棟2号館中講義室3

□1	Dissecting the Returns to Job Mobility: The Role of Firm-boundary in the Consequence of Occupational Change in Japan	Ryota Mugiyama (Hitotsubashi University)
□2	Inequality in Access to Housing in Japan: Wealth Inequality and the Role of Family Background	Hirohisa Takenoshita (Keio University)
3	Incentive-based Work-family Policies が日本企業の採用・人事管理に与える効果	吉田航（東京大学）
4	機械学習の適用による調査現場での追加情報収集支援システムの構築	○高橋和子（敬愛大学） 奥村学（東京工業大学）

12:30 閉会挨拶 大会委員長 飯島賢志

講義棟2号館中講義室3

(備考)

- 印は登壇者を示します。□は英語による報告です。The □ symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
- 無線 LAN については、大会に合わせて工事を完遂し、受付等で申し出ていただければ、ゲストアカウントの利用が可能になる予定です。ただ、工事後のテスト的な運用の面もありますので、多人数での重いダウンロードなどにどこまで耐えられるかは不明です。この点をご了承ください。

(変更履歴)

2019年7月18日 暫定版プログラム1